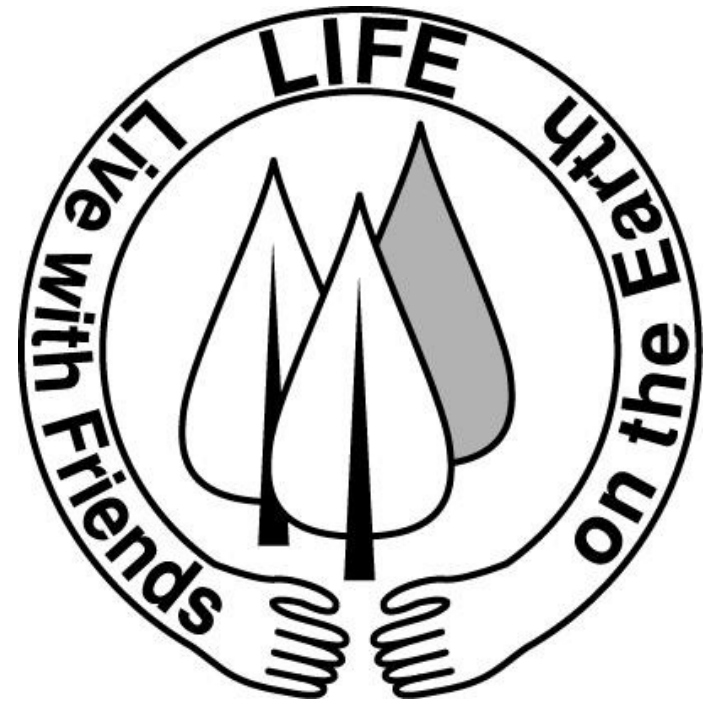


2021 年度会員総会資料

2020 年度事業報告書

2021 年度事業計画書



LIFE : Live with Friends on the Earth 特定非営利活動法人 地球の友と歩む会

特定非営利活動法人地球の友と歩む会/LIFE
2020 年度事業報告書・2021 年度事業計画書

目次

目次	2
LIFE ビジョン／ミッション／活動内容	2
2020 年度海外協力事業計画・報告／2021 年度事業計画案	
2020 年度インド部門計画・報告／2021 年度計画案	3
2020 年度インドネシア部門・報告／2021 年度計画案	10
2020 年度・国内活動報告／2021 年度計画案	21
2020 年度組織管理部門計画・報告／2021 年度計画案	22
2020 年度会計報告／2021 年度予算案	
2020 年度簡易収支報告書／簡易貸借対照表	29
2020 年度決算書類 (活動計算書・貸借対照表・財産目録・計算書類の注記)	30
2020 年度会計報告／2021 年度予算案	34
2020 年度監査報告	37
2020 年度役員・職員一覧	38
	以上

特定非営利活動法人 地球の友と歩む会／LIFE

■ビジョン

インドとインドネシアの農村の人々が自然と共生し、自立して暮らせる社会を目指します。

■ミッション

私たちとビジョンを共有する現地 NGO と協力し、「水・緑・人」をテーマに支援します。

■活動内容 ～水・緑・人で国際協力～

- ・水：農業用水、生活用水の確保など
- ・緑：自然と共生するための植林、有機農業の普及など
- ・人：農村の自立を実現・維持するための人材育成など
- ・現地との交流(スタディーツアー、ワークキャンプなど)
- ・日本での啓発活動(講演会や文化体験など)

■支援方針

- ①水・緑・人で国際協力
- ②現地の問題は、現地に住む人々が解決する。
- ③地球の友として、いま私ができることを。

■LIFE が目指す主要 SDGs

1. 貧困をなくそう



2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インド】 担当:2020 年度 米山・望月(インターン) ① 貧困農家の有機農業の支援 事業名称:有機農業に関する基盤整備及び農村開発事業 活動期間:2019 年 11 月 1 日～2020 年 10 月 31 日 (3 年間事業の 3 年目) 現 地 協 力 : REYDS TRUST (Rural Education Youth Development Service) 資金財源:外務省日本 NGO 連携無償資金協力 20,270,640 円 活動地域:タミルナドゥ州ディンディグル県サナルパティ地区、マンマラスパティ村、S・バラス村、2 か村、 受益者 150 名 支援理由:降雨量の不足により農業期間が短いため生産物が少ない、土壌が疲弊しているため収穫が少ない、これによる貧困状態に陥っている。 活動計画:土壌を改良し、有機肥料を生産、施肥し有機農産物を生産、販売していく。肥料づくり技能研修、販売促進研修、定期市場への出展、店舗での販売し対象農家の所得向上をめざす。有機農業の普及に向けて伝統種、在来種を貸し出すシードバンクを設置し農家の支出を軽減。	＜計画からの変更点＞ 活動期間:2019 年 12 月 1 日～2020 年 11 月 30 日 ＜報告＞ 計画進捗:土壌改良、農地拡大のために治水工事としてチェックダム 2 基、農業貯水池 6 基、掘削井戸 10 基、トレンチを 1555 箇所に設置。ミミズ堆肥設置、150 農家農地の土壌検査による有機認証の取得、有機農産物の定期的な集荷によるマーケットへの出店店舗で	①貧困農家の有機農業の支援 事業名称:有機農業に関する基盤整備及び農村開発事業フォローアップ 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月 現地協力: REYDS TRUST (Rural Education Youth Development Service) 資金財源:一般寄付 13 万円 活動地域:タミルナドゥ州ディンディグル県サナルパティ地区、マンマラスパティ村、S・バラス村、2 か村、受益者 150 名 活動計画:・事業評価(第三者による評価活動) ・現地視察、モニタリング ・オンラインによる進捗確認、指導 アドバイス ・オンラインによるフォローアップ ・マーケティング、販売促進施策提案

期待成果: 農民の有機農法への理解が深まり化学肥料からの脱却となり持続可能な農業ができる基盤ができる。有機農産物生産が可能となり付加価値をつけて販売される。マーケットの開拓によって消費者の有機農産物への認知度もあがる。 活動課題: 有機農産物への理解促進を図るためのプログラム開発、有機農産物販路開拓と、安定経営の施策。	の販売が可能となる。有機農業リソース・センターでの野菜種の育苗、果樹苗木の農家への配布。 活動成果: 治水工事により農地面積が 360 エーカーに拡大、有機肥料研修により有機農産物生産の増産、ミミズ堆肥は 66 トンが生産され 150 農家に 64 トン、2 トンはマーケット、店舗で販売された。シードバンクでは 900kg が 142 農家に貸し出され、1630kg が収穫後返却された。有機農産物販売では 3 月から 11 月まで 275 日オーガニック店舗で販売し、マーケットでは 50 日販売、出荷農家 146、集荷野菜 98500kg、果樹 2450kg、販売収入 186 万ルピー。	期待成果: 継続的に活動が維持でき農家による安定的な有機農産物生産、出荷、販売ができるようになる。 活動課題: 継続的に有機農産物の生産販売が可能となるために農家組合はじめ現地 NGO からの財政面、技術面での支援協力が必要となる。継続的な活動維持のための人的、財政的な支援協力体制。
--	---	--

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インド】 担当:2020 年度 米山 ②女性の職業訓練支援 事業名称:収入向上のための研修、実習事業フォローアップ 活動期間:2020 年 4 月～2021 年3月 現 地 協 力 : REYDS TRUST(Rural Education Youth Development Service) 資金財源:自己資金 活動地域:タミルナドゥ州ディンディグル県サナルパティ地区、マンマラスパティ村、S・バラス村、2 か村、女性グループ受益者 30 名 活動背景:農業生産が減少し、特に女性の現金収入の手段が少なく困窮化を脱却するために新たな現金収入に結び付く技能研修を設ける。 活動計画:女性グループ組織運営、現金収入プログラム施策に向けての技能修得研修、成功例視察研修 期待成果:30 名の女性グループメンバーが研修によって技能を修得し具体的なプログラムを実践。 活動課題:女性グループメンバーの経験値が少ないので、フィールドワーカーによる親密な指導が不可欠	<計画からの変更点> <報告> 計画進捗:新型コロナウイルス感染症により駐在員が2020 年 3 月に帰国したため、現地 NGO との協力関係も困難となりモニタリング、フォローアップ活動ができなかった。 活動成果:成果なし	《2020 年度計画からの変更点》 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月まで 資金財源:一般寄付(①と合わせた資金提供予定) 活動計画:①のフォローアップの活動で併せてモニタリングをおこない、現状把握を行ったうえで現地 NGO と協議して対応をしていく。 期待成果:30 名の女性グループメンバーが習得し実践した成果を共有し継続的な活動ができるようになる。 活動課題:現金収入面での技術を維持、加工品生産には機器が必要な場合があり、資金をど

		のように調達するかの課題がある。機器の必要がない場合では加工品のプロセスや販売方法などについてアドバイスをしていく。
--	--	---

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インド】 担当:2020 年度米山 ③SHGによる教育ローン運営支援 事業名称:教育ローン・所得向上ローン支援事業 活動期間:2020 年 4 月～2021 年 3 月 [2012 年より開始された事業] 現地協力:CIRHEP (Centre for Improved Rural Health and Environmental Protection) 資金財源:LIFE からの資金提供なし 活動地域:タミルナドゥ州、ニラコタイ地区 3 の SHG ウタヤム連合、スリ・ムタランマン SHG、アンアイ・ムタランマン SHG 活動背景:高等教育ローン制度導入による経済的支援。中学校までの進学率は 90%以上だが高等教育への進学は経済的な理由で諦めている農村家庭の進学率を高める。教育ローンを SHG で自己運営できるまでサポートを行う。 活動計画:定期的なモニタリングとアドバイス	＜計画からの変更点＞ 担当:2020 年度米山、会員:島田 資金財源:30 万円(進捗、報告運営経費として) ＜報告＞ 計画進捗:ウタヤム連合、スリ・ムタランマン SHG、アンナイ・ムタランマン SHG とともに適正な運営管理がなされている。運営報告書フォーマットを提供し、それに沿った報告を依頼。 所得向上ローンの用途としてはプリントショップ開	《2020 年度計画からの変更点》 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月まで 資金財源:LIFE からの資金提供として管理運営費 活動地域:ニラコタイ地区 3 つの SHG、スリ・ムタランマン SHG、マイケルパラヤム地区にあるアンナイ・ムタランマン SHG 活動計画:3 地区の SHG による教育ローン運営が継続的におこなわれるためにマネージメント面でのアドバイスをおこなっていく。運営経費は返済金と銀行預け利子で賄われる。

活動課題:継続的な安定運営	店、乳牛購入、農業振興も加えられた。 活動成果:各グループ活動報告 1) ウタヤム連合: ローン残高:617,800 ルピー ローン利用者数 30 名 返済人数(直近 3 カ月):82% グループ口座残高:172,323 ルピー 2) スリ・ムタランマン SHG ローン残高:490,000 ルピー ローン利用者数:12 名 返済人数率:100% グループ口座残高:71,026 ルピー グループ貯金額:101,900 ルピー 3) アンナイ・ムタランマン SHG ローン残高:134,985 ルピー ローン利用者数:12 名 返済人数率:100% グループ口座残高 114,940 ルピー グループ貯金高:21,600 ルピー	活動課題:教育ローン受給者のその後、その後の成果の報告、モニタリングの実施、記録技能円滑な運営が可能となるような SHG メンバーの技能向上、研修、SHG 独自で運営管理ができるようになることが大きな課題。
----------------------	---	--

■少女たちへの生理教育研修:実施報告 ※この活動は単年度支援の予定

現地協力: RICH 資金財源: 2019 年度年末募金 活動地域: インド・タミルナドゥ州

活動目的: インドでは血液は不浄なものとする地域があり、少女たちは生理について友達や学校の先生どころか母親とも話すことがない。清潔なナプキンを購入する経済力もなく、買い物を担っているのが男性であるためナプキンを購入する必要性を理解してもらうこともできない。そのため、生理中は家にある使い古しのぼろ布を代用するしかない。このように情報に乏しい少女たちが生理の正しい知識や衛生観念について理解するための研修を行う。

活動報告: 少女たちを集め女性の医師から生理の正しい知識、衛生観念、生理用ナプキンの使い方などの指導をした。また、コロナウイルスの影響で仕事を失った男性たちが少女たちに性的暴行を行う事例もあったことから、男性から体に触られることの危険なサインを見分ける指導も行った。春休みに LIFE でインターン生として活躍する大学生が、スタンレー氏にインタビューし少女の生理問題を見極めた上で解決策として子どもや親が知識を得られるようポスターを作った。

■マスクの縫製および配布: 実施報告

現地協力: REYDS TRUST 資金財源: 2020 年度ひまわり募金

活動地域: インド・タミルナドゥ州ディンディグル県サナルパティ地区、マンマラスパティ村、S・バラス村、2 か村、周辺住民、近隣小学校の児童 受益者: 3000 名

活動目的:

感染予防のためのマスクを購入する店、資金がない農村住人を対象に実施。

活動報告: マスク 3,000 枚を 3,000 名に配布。当初は不織布を購入予定だったが、現地の NGO が無償配布していたため、譲り受け縫製した。縫製は以前から協力関係の REYDS が運営する縫製工房で作製。縫製作業員である女性 10 名の作業費を払うこともできた。

※農村であるがゆえ、都市部とちがい新型コロナは流行していないが。今後の感染状況に留意したい。

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当:古賀 ① スンバ島での植林推進(2015 年に開始) 事業名称:緑化推進のためのマングローブ植林事業 活動期間:2020 年 7 月～2021 年 6 月 現地協力:ワインガップラジオマックスコミュニティ財団 (ラジオ MAX) 資金財源: 緑の募金 46.7 万円、寄付 56.1 万円 活動地域:インドネシア・スンバ島東スンバ県カル村 活動背景:荒廃した自然環境の回復のため 活動計画:マングローブ苗木 3,500 本植林、植林イベントの開催、現地メディアへの広報活動、植林後の見回り、海岸のごみ拾い。 期待成果: 現地 NGO が情報発信することにより地元住民だけでなく海岸を訪れる人たちに環境保全への理解が定着する。 活動課題: 植林後のマングローブの管理。植林地のごみ拾い。盗伐の監視。	<計画からの変更点> 活動期間:2020 年 9 月～2021 年 3 月 資金財源: 三菱商事株式会社 4 万円、一般寄付 3.4 万円 <報告> 計画進捗: 既存のマングローブから種を摘み取り、種から育苗し植林した。 活動成果: 約 600 個の種を摘み取り全て苗木に成長した。そのうち 400 本はすでに植林済み。苗木購入費用を削減できた。	<2020 年度計画からの変更点> 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月 資金財源: 公益財団法人日中友好会館 50 万円、寄付 30 万円 活動計画: マングローブの種 1,000 個を既存のマングローブから摘み取り、種から育苗。植林。植林イベントの開催、植林後の見回り、海岸のごみ拾い。ラジオ放送や SNS による環境保全啓発活動。 期待成果: 現地 NGO が情報発信することにより地元住民だけでなく海岸を訪れる人たちに環境保全への理解が定着する。 活動課題: 新型コロナの影響で植林イベントを開催することができなかった。植林はラジオ MAX スタッフ、友人の数人で行った。

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当:古賀 ② スンバ島栄養改善支援 事業名称:スンバ島農村部に暮らす村人と子どもたちのための栄養不足改善事業 活動期間:2020 年 4 月～2021 年 3 月 (4 月より 3 年間事業の 1 年目) 現地協力:ワインガップラジオマックスコミュニティ財団 (ラジオ MAX) 資金財源:味の素ファンデーション 活動地域:インドネシア・スンバ島東スンバ県 ライパンダック村 活動目的:東スンバ県農村部の貧困家庭の栄養不足を改善する。ライパンダック村をモデルの事業地とし、様々な栄養素を摂取できるよう野菜作り指導の他、大豆作り、果樹の植林、いけすでの魚の養殖を行う。また、大豆や魚は加工品作りも指導する。村で生産されたものは販売して、村人の収入源とし、事業継続の資金にもする。 活動計画:村で唯一の公共施設であるライパンダック小学校を拠点に事業を行う。学校の先生方が全面的に協力をしてくださることになっている。また、LIFE の支援者である栄養を専門と	<計画からの変更点> 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月(4 月より 3 年間事業の 1 年目) 新型コロナウイルスの影響で一年間の延期。 <報告> 計画進捗:味の素ファンデーションとのオンラインミーティング 2 回、プロジェクトに協力いただいている小児科医と管理栄養士とのオンラインミーティング 2 回、その他メールによる意見交換。	《2020 年度計画からの変更点》 活動期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月 (4 月より 3 年間事業の 1 年目) 現地協力:ワインガップラジオマックスコミュニティ財団 (ラジオ MAX) 資金財源:味の素ファンデーション 2,838,000 円 活動地域:インドネシア・スンバ島東スンバ県 ライパンダック村 活動目的:東スンバ県農村部の貧困家庭の栄養不足を改善する。ライパンダック村をモデルの事業地とし、様々な栄養素を摂取できるよう指導する。 活動計画:予定していたライパンダック小学校は 4 月以降も再開のめどが立っていないため、道からアクセスしやすいところに住む 1 歳から 6 年生までの子どもを対象とする。また、

する小児科医と管理栄養士のお二人がプロジェクトに参加する。事業で行うことは、有機野菜および大豆作り、果樹の植林、有機肥料の作成、いけすの建設、魚の餌の作成、バイオガスを使った調理場の建設、加工食品作り、小学生および未就学児の身体測定など。小学生とその保護者、近隣住民が事業に参加する。 期待成果：村人とその子どもたちの栄養改善だけでなく、この事業がスンバ島農村部が抱える栄養不足を改善するためのモデルとなり、各村への指標となる。 ※上記は 3 年間の見通し計画		LIFE の支援者である栄養を専門とする小児科医と管理栄養士のお二人がプロジェクトに参加する。2021 年度事業で行うことは、有機野菜栽培、有機肥料の作成、バイオガスを使った調理場の建設、小学生および未就学児の身体測定など。小学生とその保護者、近隣住民が事業に参加する。 期待成果：村人とその子どもたちが栄養摂取への関心を高める。子どもたちの発育状態を把握する。村人たちが有機野菜の作り方を習得する。小学校にバイオガスを使った台所が出来上がる。村人たちが効率的に栄養を摂取できる料理方法を学ぶ。
---	--	---

■マスクの縫製および配布：実施報告

現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティ財団（ラジオ MAX） 資金財源：2020 年度ひまわり募金

活動地域：インドネシア 東スンバ県ワインガップおよび周辺の農村住民 600 名

活動目的：

感染予防のためのマスクを購入する店、資金がない農村を中心とした住民に実施。また休校で学習の遅れが心配されるため自習の補助授業の実施。

活動報告：マスクなしで農業作業や市場へいくことを禁止された農村住民を対象に布マスク、フェイスシールドを配布。また住人の多くが信仰するキリスト教の牧師にも配布。

休校中で自宅学習が続く子供を対象にラジオ放送で教育番組を放送。講師役には小学校教師を定年退職した方に依頼。

※農村では新型コロナの大きな流行は見られないが、県庁のあるワインガップ市内を中心に町では流行が繰り返し発生中。

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当：古賀 ③スンバ島農村部の子ども支援-1（2016 年に開始） 事業名称：東スンバ島農村部の子どもの教育環境改善事業（4 年目） 活動期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月 現地協力：東スンバ県教育局 資金財源：日本労働組合総連合会 45 万円、一般寄付 33.1 万円 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県、中部ジャワ 活動目的：東スンバ県農村部の低所得家庭で通学用バッグを購入できない子どもたちにバッグを配付し、学力向上・通学意欲の継続を目指す。さらにバッグ製作者である中部ジャワの貧困世帯の主婦たちの現金収入増加を目指す。 活動計画：スンバ島にて新しいデザインのバッグを考案し中部ジャワでバッグを 2,000 個作成する。3 年目にバッグを配付したスンバ島の小学校で使用状況などの聞き取り調査をする。	<計画からの変更点> なし <報告> 計画進捗：スンバ島にて 2019 年度に作成したバッグを配付する計画だったが、新型コロナウイルスの影響で 2020 年 3 月から学校が休校中のため配付することができなかった。中部ジャワのバッグ製作者の村でクラスターが発生し隔離や消毒作業がありバッグ製作が滞り年度内に出来上がったバッ	<2020 年度計画からの変更点> 活動期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月（5 か年事業の 5 年目） 資金財源：日本労働組合総連合会 45 万円（申請中）、一般寄付 30 万円 活動計画： スンバ島にて新しいデザインのバッグを考案する。中部ジャワにて 2,000 個のバッグと昨年度作り終わらなかったバッグを製作する。

期待成果：新たに 2,000 人の小学生が通学用バッグの配付を受ける。通学意欲の増加。 活動課題：新型コロナウイルスの影響で事業が計画通りに進まなかった。	グは 1,035 個。残りは来年度製作する。 活動成果：出来上がった 1,035 個のバッグに対する製作費を製作者の女性たちが受け取った。	期待成果：2,000 人分のバッグが出来上がる。 活動課題：2021 年度も学校再開のめどが立たないため、バッグの配付が難しい。ジャワ島での感染状況によってバッグの製作が中断する可能性がある。
---	---	--

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当：古賀 ④スンバ島農村部の子ども支援-2 事業名称：東スンバ県農村部の子どもたちの絵本寄付事業（2016 年開始） 活動期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月 現地協力：ワインガップラジオマックスコミュニティー財団（ラジオ MAX） 資金財源：きしゃぽん古本募金、株式会社三井住友銀行 活動地域：インドネシア・スンバ島東スンバ県 活動目的： スンバ島の子どもたちは小学校に入学するまで文字に接する機会がほとんどない。小学校に入学して勉強として学ぶ文字は難しく、授業に興味を持てない。日本のカラフルな絵本で文字に親しむことにより学校での授業をスムーズに受け入れることができ、学力が向上する。 活動計画：日本在住のインドネシア人の方たちによる翻訳ボランティア、三井住友銀行さんや個人のボランティアさんたちによる翻訳の切り貼りボランティア。	<計画からの変更点> なし <報告> 計画進捗：在宅でできるボランティアということで約 20 名の方が切り貼りボランティアに参加した。絵本の寄贈もあった。また、感染防止に配慮した上で三輪田学園の生徒約 50 人が切り貼りボランティアをした。	<2020 年度計画からの変更点> 活動期間：2021 年 4 月～2021 年 3 月 資金財源：きしゃぽん古本募金 活動計画： 切り貼りボランティアが増えているので LIFE で絵本を用意するのではなく参加者各自で絵本を用意してボランティアに参加していただくやり方に切り替える。

期待成果：子どもたちが様々な本に接して知識を増やし、将来の可能性を広げる。また、読書をすることから集中力が養われ学校の授業も集中して受けられるようになり成績が伸びることが期待される。 活動課題：新型コロナウイルスの影響によるボランティア開催の制限。	活動成果：在宅でできるボランティアという触れ込みでボランティアウェブおよびちよだボランティアセンターのサイトに掲載したので、新規のボランティアが増加した。	期待成果：参加するボランティアが増えているので、スンバ島で多くの子どもたちが本を手に行ける。 活動課題：一度ご縁のあったボランティアの方々に継続して LIFE の活動に参加していただくよう促す。学校など集まって切り貼りボランティアを実施する際の感染防止策。
--	--	--

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当: 米山、古賀 ⑤農業復興事業 事業名称: 東スンバ県 4 か村における農村開発支援事業調査 調査期間: 2020 年 4 月～2021 年 3 月 18 日 現地協力: MARADA 財団 資金財源: 一般寄付 100,000 円 助成金の申請予定 金額: 約 2000 万円 活動地域: 東ヌサトゥンガラ州東スンバ県、ハハル郡 ムバタプ村、プライラギナ村、レワ郡カン バタウンドゥツ村、マタワイパワリ村 4 か村 活動目的: 農業生産が極めて少ない 201 農家を対象にして農業復興のための灌漑設備整備、有機農業の推進により農業生産性を上げ農業生産による生活改善、販売による収入向上をめざしていく。 活動計画: ①給水施設整備関連調査 ②農業復興基盤整備関連調査 ③農業グループ組織化関連調査	<計画からの変更点> <報告> 計画進捗: 事業申請のため現地パートナーNGOとのやり取りをおこない資料の収集、実行に向けた活動計画書を作成し、7 月に外務省に提出。	《2020 年度計画からの変更点》 事業名称: 灌漑施設整備ならびに有機農業基盤整備による農業生産向上(新規事業、3 年間事業の 1 年目) 活動期間: 2021 年 4 月～2022 年 3 月 開始時期は新型コロナウイルス感染症の影響で遅れる見込み。 現地協力: MARADA 財団 資金財源: 外務省日本 NGO 無償資金協力事業 25,730,000 円 活動計画: 灌漑施設、給水施設建設による農地整備、農業生産増加と土壌改良に向けた技能修得生活改善と収入向上に向けた BUMDES

④環境保全、土壌改良関連調査	新型コロナの影響で審査の遅れ、インドN連の報告書の審査完了までは受理されないとの連絡あり。	(村営事業体)との機能強化 期待成果:灌漑設備、給水施設建設により作付け可能な期間が3カ月間から9か月間となり農地耕作面積も各農家の畑で50%面積となる。農業生産の増加と土壌改良のための技能修得により収穫農産物が増加。生活改善と収入向上に向けてBUMDESとの協働によって農産物の販売促進がなされ現金収入となり生活改善に結びつく。 活動課題:農業では自然災害によるリスクが想定されるが被害を軽減させるためにも関係機関と協力して情報の共有をおこない未然に被害を防いでいく措置を講じていく。
-----------------------	--	--

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
支援事業【インドネシア】 担当：米山、山田、阿部、小田嶋 ⑥バリ島給水事業 事業名称：水道組合設立及び住民主体の持続的な水道事業運営に向けた基盤構築事業（新規事業、3 年間事業の 1 年目） 事業期間：2021 年 4 月～2021 年 3 月 事業地域：バリ州ブレンゲ県プダワ村 6 集落 現地協力：BUMDES（公営の経済管轄機関、2015 年設立） 資金財源：ゆうちょ財団 100 万円、日本国際協力財団 199 万円 活動目的：生活用水が使用できていない 1,152 世帯 3,629 人を対象にして老朽化して水供給が困難な状況を改善していき健康で安全な生活が出来るようにする。 活動計画：給水状況を調査し、現状把握と村人の意見を聞いてどのような給水施設が望ましいかを理解していく。水道組合を組織し、水管理維持のために人材育成研修を実施。貯水池の新設・修繕をおこなう。	<計画からの変更点> 事業開始が新型コロナウイルス感染症拡大により現地への渡航を延期していた関係で計画より遅れて 7 月から開始された。 <報告> 計画進捗：管理面では水道事業計画書の完成、給水設備維持管理方法に関する仕様書を作成。技術面では 3 つの水源のうちの 1 つの水源改善。2 年目以降に水道管の修繕を実施変更。	《2020 年度計画からの変更点》 事業名称：水道組合設立及び住民主体の持続的な水道事業運営に向けた基盤構築事業（新規事業、3 年間事業の 2 年目） 事業期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月 資金財源：日本国際協力財団 198 万円、地球環境日本基金 145 万円 活動目的：生活用水が使用できていない 1,152 世帯 3,629 人を対象にして老朽化して水供給が困難な状況を改善していき健康で安全な生活が出来るようにする。治水機能向上のための住民主体の植林活動。 活動計画：管理面： ・ブダワ村での顧客リストの作成 ・住民のプロジェクトへの理解醸成 技術面： ・貯水池、配水池の改善 ・水道管の修繕 ＜植林＞水源地周辺への 1000 本の植林

期待成果:送水管が修繕され700人への水のアクセスが24時間可能となる。村人が水管理の必要性を認識し維持管理に参加する。 活動課題:組合活動に村人が理解をもち、研修参加や施設工事などへの協力が得られるか	活動成果: ・水道組合設立による統一化された給水事業実施体制の構築 ・ファイナンスモデルを用いた水道料金の設定 ・バリ島ウダヤナ国立大学、PDAM(公営水道会社)との連携	期待成果:管理面: ・水道料金徴収体制の体系化 ・水道料金の徴収状況の把握 ・本事業への認知度の上昇 ・ブダワ村の水環境保護への理解促進 技術面: ・漏水及びメンテナンス性改善による有効送水量の増加 ・貯水池、配水池の維持管理ノウハウ習得 <植林> :住民の水源確保の意識向上、ならびに治水能力の向上。 活動課題:コロナ禍でもプロジェクトを予定通り遂行することができるか。
---	--	--

2020年度 海外協力事業 計画	2020年度 海外協力事業 報告	2021年度 海外協力事業 計画案
■海外交流事業【インドネシア】 担当:古賀 計画なし	3月の会員視察、 新型コロナウイルスの影響により中止	オンラインスタディツアーの開催(予定) ※職員以外の渡航は困難であることが予想されるため国内での活動計画案にまとめます。

2020 年度 海外協力事業 計画	2020 年度 海外協力事業 報告	2021 年度 海外協力事業 計画案
【講座・イベント】 ① 講義・講演の依頼 予定なし ② 学習会・講座・イベントの企画・開催 新型コロナウイルスの終息の目途(少なくとも東京都が自粛呼びかけを解除するまで)が立つまで受け入れも主催もしない方針。 ※ただしオンラインによるイベント開催は検討したい ③ 他団体主催のイベント参加 ・メーデー(4 月) ・障害者施設の納涼祭出展(7 月) ・グローバルフェスタ JAPAN(9 月) ・学園祭への出店(9 月) ・ふれあい満点市場(2 月) ・ちよだコミュニティラボライブ！(3 月)	① 同左 大分県中津市立真坂小学校で講演会を実施(12/10) ※うちよ財団の支援で実施 ② 同左 自主開催はなし。ただし要請を受けて下記イベントを実施。 ・(株)NEXTRA 主催で学生のキャリアアップ講座の一環でオンライン登壇 & 現地スタッフと交流(9/19) ・三輪田学園:福祉委員会と絵本の翻訳貼りボランティア & 現地スタッフとの交流会(12/15) ③同左 中止となったイベントは以下の通り。 ・障害者施設の納涼祭出展 ・グローバルフェスタ JAPAN ・学園祭への出店 開催されたが緊急事態宣言下で出展を取りやめたイベントは以下の通り。 ・ふれあい満点市場(2 月) 出展したイベントは以下の通り。 ・ちよだコミュニティラボライブ！(3 月) 主催:千代田区	①イベントの開催 オンラインによるスタディーツアーや交流会を企画中。 現地の協力が不可欠であるため、現地の事情を優先としながら収益のとれる内容を検討中。YouTube を活用した無料の活動紹介なども制作中であり公開予定。 ②他団体主催のイベント出展 ・メーデー(4 月) →実地でのイベント中止が決定 ・障害者施設の納涼祭出展(7月) ・グローバルフェスタ JAPAN(9 月) ・学園祭への出店(9 月) →中止になる可能性が高い ・ふれあい満点市場(2 月) 主催:東京ボランティアセンター 内容:活動紹介・物品販売 →情勢が許す限りは出展予定 ・ちよだコミュニティラボライブ！(3 月) →オンラインで実施なら参加予定

	内容:区内交流に興味がある方へ向けた活動紹介 →オンラインで実施	NEW ! ・広報展示リレー企画(アート×SDGs) ボランティア活動で協働中の千代田区立障害者福祉センターえみふる利用者と西神田児童センター利用者が共同制作したプラスチックアート作品の展示リレー企画。4月:ECOM駿河台(三井住友海上)、5月~7月末(予定)日比谷図書文化館にて展示。その後、千代田区の文化芸術の秋フェスティバルに出展予定。 LIFEは展示にSDGs実践者、えみふる協力者という観点から活動の広報を行う予定。 →緊急事態宣言等で展示期間が変更予定
--	---	---

2021 年度 組織管理部門 計画	2021 年度 組織管理部門 報告	2021 年度 計画案
【会員・ボランティア】 ① 会員数目標 (会員 42 名 賛助会員 70 名) ・募金キャンペーンに合わせての会員加入 ・会員交流に参加する非会員、寄付協力者から会員加入 ・旧ツアー参加者の会員継続のお願い ・退会後も募金案内等を通した再入会のハードル下げ ② 交流会 ・花火鑑賞を毎年していた江戸川花火大会は 10 月 24 日に延期	① 同左 ・正会員 (40→41 名、1→1 団体 計 42 名) 賛助会員 51→57 名 ・大きな減少は見られなかった ・既存会員が減った分、新規入会者や再入会者が増えたが、既存会員で会員更新を望んでいない方もいる。 ② 同左 新型コロナの影響ですべて中止。	① 会員数 ・今年度は財政悪化で継続数が下がる可能性あり ・認定 NPO となると会費は寄付扱い(寄付金控除の対象外)ではなくなる。単純な数を目標にせず、会員特典の充実や主体的な会員の獲得を検討事項とする。 ② 同左 ワクチン接種や流行の傾向など読めないため、実地交流は当面中止、オンライン交流は検討したい。

・新型コロナの影響で当面の間は中止 ③ボランティアおよびインターン活動 ・継続して切手仕分ボランティアに参加していた企業も新型コロナの影響で中止中。事務局も送付できないため当面中止。 ・事務局で主催するボランティア活動は当面中止。郵送を伴わないボランティア活動があれば実施したい。 ・郵便局などの配送業者でも新型コロナの影響で配送の遅れやセンターの閉鎖なども起きているため、運送業者の負担軽減のためにもコロナが終息するまで物品寄付は自粛したい。	③ 同左 ・切手の仕分けボランティア 社内ボランティアを毎年行っている企業複数から中止の連絡。今年度の再開は難しいとの連絡があった企業もあったが在宅勤務中の社員向けに実施や、福祉施設などの影響を受けにくい団体から新規申込みもあり作業量は影響を受けず。(団体3・個人8) ・切手の資金化ボランティア 実施団体は福祉施設のため継続して実地中(団体1) ・事務局ボランティア 寄付された切手ハガキは決算で棚卸が必要なため、3月は広い会場(無料)を借りてインターンとボランティア各1名で実施。衛生的かつ3密を回避した無料の会場の確保が難しいため、会報等の封入作業などの事務局手伝いを在宅勤務中の職員家族(会員)に依頼。 ・絵本の翻訳貼りボランティア ※詳細はインドネシア事業を参照 ・物品寄付の受け入れ 2020年3月～5月の緊急事態宣言下でも多くの物品寄付が届いた。海外の切手や海外通貨や記念メダル等の換金先業者が新型コロナの影響で発送できず、休業となった。(顧客が外国人、郵便事情が回復しないた	③同左 ・切手の仕分けボランティア 継続参加の団体、個人には引き続き在庫の連絡を取り活動の継続を図りたい。 ・切手の資金化ボランティア 未使用の切手を資金化していく活動のため引き続き信頼ある法人と継続して実施予定。 ・事務局ボランティア 東京ボランティアセンターの無料会議室を活用。またボランティア保険が2020年度中に改正され新型コロナに対応したため参加者には加入をお願いしていきたい。情勢を見ながら実施を検討したい。 ・絵本の翻訳貼りボランティア ※詳細はインドネシア事業を参照 ・物品寄付の受け入れ 海外切手や海外通貨等の換金先が業務を再開していないため、万一のため新しい換金先を検討する。
--	--	---

	め)そのため国内切手(未使用・使用済)、ハガキ、金券類のみ換金できた。 ※きしゃぼん募金、モノキフの運営法人は営業中 ・インターン受け入れ 長期インターン：1名 事務局の助手作業のほか、広報活動として LIFE の活動を紹介する動画の制作。YouTube に投稿予定。 短期：インターン3名 ※春休みを利用 ①スンバ島の水利用の問題を調査し、村人が水にアクセスする最適な方法の模索 ②インドの農村部でタブー視されている女性の生理について、生理は忌むものではないと意識の改善検討 ③インドにオープンした LIFE 支援のオーガニックショップについて、有機野菜の認知を広め拡販に努める方策の検討 →NPO 法人ドットジェイピーの協力にて実施 ・プロボノ協力 2名 ①動画の作成と YouTube への掲載についての指導 →NPO 法人サービスグラントの支援にて実施 ②スンバ島で自作できる給水ポンプの検討 【その他受け入れ】 ・スンバ島の高校で日本語選択をした高校生向け語学講座のラジオ放送協力 ・オンラインイベント実施の助言協力	・インターン受け入れ 長期インターン：1名 広報活動として LIFE の活動を紹介する動画の制作。YouTube に投稿。 短期インターン： 短期の受け入れは事務局や現地の状況を検討したうえで決定。 その他ボランティア活動 現地からの要請または事務局の要望で受け入れを検討していく。
--	---	--

【募金寄付金】 ① ひまわり募金・参加 70 組 ・目標金額 30 万円 ・新型コロナの影響もあるため今年は既存寄付者へ送付考え ②クリスマス年末募金(募集期間：11 月～3 月) ・参加 130 組 ・目標金額 130 万円 ・寄付金額の減少が考えられる ③Readyfor 2020 年度は単発的に実施のため今年は実施しない考えだったが、今後の状況次第では検討しないといけないかもしれない。 【物品寄付】(2004 年より開始) ①物品寄付 ・きしゃぽん古本募金 20 名以上の参加目標 ・使用済切手 約 100 kg の収集目標	① 同左(募集期間：6 月～9 月末まで) 【緊急支援：新型コロナ対策】参加 108 組 ・募金額 892,873 円(目標金額 + 約 59 万円) ② 同左(同左募集期間：12 月～3 月) ・【インド・インドネシアの村の人に、愛の手を！】参加 116 組 ・募金額 175 万 8216 円(目標金額まで一約 25 万円) ※クレジットカード寄付入金分も含む ③同左 2021 年度に実施予定で計画。 予想以上に寄付が集まったが企業からの寄付減少や経済悪化による寄付減少も考えられるため楽観視は出来ない。 ①同左 ・きしゃぽん募金 24→24 組が参加 ・使用済切手 約 120 kgを換金済み、未換金(仕分中)	① 同左 ・参加 70 組 ・目標金額 30 万円 ・新型コロナの影響もあるため今年は既存寄付者へ送付考え ② 同左 ・参加 130 組 ・目標金額 130 万円 ③ クラウドファンディング企画 1 年を通して 500 万円の寄付を集める計画。第一案として5月から開始予定のクラウドファンディングのキャンペーンを実施。 ①物品寄付 ・きしゃぽん募金 寄付用途にインドおよび絵本活動以外の項目を載
--	---	--

・レア切手 は引き続き換金予定 ・未使用切手も収集予定 ・切手仕分隊の継続参加 ・郵便ハガキ 3,000 枚 目標 ・その他金券、文房具等 適宜受付 ②物品寄付の協力 企業・団体 40 社、個人 90 名 目標 ③企業団体との連携協力 切手の資金化ボランティア企業・団体 5 社 目標 ④自治体のボランティアセンターとの協働 ・東京ボランティアセンター主催「夏のボランティア体験会」の登録 ・ボランティア広報は東京・ちよだボランティア両センターで行う。 ※場所の確保とボランティア内容が乏しいため、需要と供給に気をつけ募集を行う。 ・企業ボランティアクラブ（ボランティア活動が寄付になる）を活用予定。	の在庫は約 10 k g。 ・レア切手 未換金 ・海外通貨や記念メダル等 12,920 g 5,200 円 ※買取業者が休業中のためレア切手や海外通貨等の換金は進んでいない ・未使用切手、ハガキ、金券等の金額は決算を参照 ②物品寄付の協力 企業・団体(35→37) 個人(86→70名) 計 107 参加 ③企業団体との連携協力 ・切手の仕分、資金化ボランティア 4 団体が参加 ※新型コロナや在宅勤務の影響で減少 ④ボランティアセンターとの協働 ・東京ボランティアセンター 「夏ボラ」は提供できる活動がなかったため不参加 ・ちよだボランティアセンター 企業ボランティアクラブを活用した活動はなかった。	せ寄付動機を広げる。 ・使用済切手の回収 切手の使用量は減少しているが、引き続き回収の呼びかけを行う。 ・レア切手の換金 新たな換金先の検討を行う ②物品寄付の協力 本、DVD、ゲームの電子化、切手ハガキの利用低下と逆風であるが、夏ボラや広報の機会積極的に 行う。また中古買取業者の活用の検討。 ③企業団体との連携協力 ・参加目標数は設けず、参加団体との連携や他のボランティア活動等の協働を検討。 ④ボランティアセンターとの協働 ・東京ボランティアセンター 「夏ボラ」にボランティア活動の提供予定(絵本の翻訳貼り・物品回収・YouTube 評価などオンラインや自宅等で出来る活動の予定) ・ちよだボランティアセンター 企業ボランティアクラブ参加企業が参加しやすいプログラム(絵本の翻訳貼りなど)の提供
---	--	--

【事務局】 ① 年次総会の開催 2021 年 5 月 23 日（土）に開催予定 ※評決書、委任状、インターネット会議を用いて開催予定 ② 各種委員会 ・2～3 カ月に 1 回、定期的な開催（新型コロナ影響下はネット会議利用） ③ 組織管理部門のための職員の研修参加 ・ツアー安全管理講習 ・ファンドレイジング講習 ・職員スキルアップ講座等の出席 ④ 通信機器・情報・受信機器環境整備 ・会員管理ツールの納入は夏頃の予定（データ移行も含む） ・在宅ワークに必要な通信環境の整備のため東京都の助成金を活用予定 【広報】 ・会報「みらいの樹」 計 4 回発行予定 ・メルマガの月 1 回配信、ブログ更新、facebook の活用 ・認定 NPO 法人サービスグラントのプロボノと共同	① 同左 2020 年 5 月 23 日（土）通常総会の開催 ※評決書、委任状、インターネット会議を用いて開催 ②同左 ・理事会 4 回、運営委員会 3 回開催（オンラインにてすべて実施） ③同左 ・ファンドレイジング講習 ・その他無料講座の出席 ④ 同左 ・新たな会員管理ツールは納入済み。ただし新型コロナの影響で事務局での臨時アルバイトを雇ってのデータ移行作業は難しく、外注見積もりが+15 万円となったためデータ移行は未実施。 ・在宅勤務で必要な通信整備を東京都助成金で購入済み 【広報】 ・会報みらいの樹 81～82 号 計 2 回発行 ・会報みらいの樹（番外編）年次報告書を発行 ・メルマガ月 1 回配信、Facebook やブログ更新は定期的に実施 ・HP 改善の実施	① 同左 2021 年 5 月 22 日（土）に開催予定 ※評決書、委任状、インターネット会議を用いて開催予定 ② 同左 ・2～3 カ月に 1 回、定期的な開催（新型コロナ影響下はネット会議利用） ③同左 ・ファンドレイジング講習 ・職員スキルアップ講座等の出席 ④同左 ・データ移行を行いたい但し資金難のため保留。外注費用は助成金支出で賄えるか検討中。 【広報】 ・会報みらいの樹 年 2 回の発行 ・会報の送付先見直し ・会報を定型郵便で送付できるように変更 ・年次報告書の作成の定期化 ※新型コロナの影響で郵送が困難になる可能性あり
--	--	---

で LIFE 公式 WEB の改善 ・郵便代の値上げに伴いみらいの樹の他に年次報告書の作成を検討 ・グーグル無料広告の積極利用 ※新型コロナの影響で郵送が困難になる可能性もある 【その他】 ・認定 NPO 法人の取得について 再申請の予定だったが、新型コロナの影響で審査実施が可能なのか不明。 申請で必須の事前相談会は中止となっている。 (4/8 時点) ・職員 1 名の正規雇用	・郵送作業は職員家族(会員)のボランティア協力で実施 【その他】 ・同左 10 月に都職員と面談、申請書類の不備や追加情報の添付を求められ翌 2 月に改めて申請した。 都職員曰く 1 回目の緊急事態宣言で業務が止まり、業務が滞っているため審査には時間がかかるとのこと。 ・その他 3 年間の助成がある味の素助成金、外務省 N 連助成を元手に 1 名を正規雇用。厚労省の正規雇用助成金を申請中。	【その他】 ・同左 1 次審査相当の面談は 2020 年度 10 月に実施済み。2 次審査である実地調査の連絡待ち。2 次審査は冬季になる可能性あり。 同左 ・厚労省の正規雇用助成金は不採択の通知。 ・職員 1 名を委託勤務から有期雇用に変更予定。
--	--	--

2020年度 簡易 収支報告書

単位:円

収入の部		費用の部	
会費	784,000	事業費用	12,518,236
寄付金	4,272,809	管理費用	3,373,674
助成金	5,121,663		
補助金	2,236,270		
国内事業	73,270		
その他	435,817		
合計	12,923,829	合計	15,891,910

利益の部		繰越の部	
		前期繰越金	9,655,660
当期利益	▲ 2,968,081		
		次期繰越金	6,687,579

2020年度 簡易貸借対照表

単位:円

部門	科目	金額
＜資産の部＞		
	現金	0
流動資産	預金	8,018,115
	切手・ハガキ・金券	841,333
	未収入金	60,070
	流動資産合計	8,919,518
固定資産	事務所敷金	780,790
	固定資産合計	780,790
	資産の部合計	9,700,308
＜負債の部＞		
	未払金	1,790,838
流動負債	前受金	1,157,000
	預り金	64,891
	流動負債合計	3,012,729
	負債の部合計	3,012,729
＜正味財産の部＞		
	前期繰越正味財産の部合計	9,655,660
	当期正味財産の部合計	6,687,579
	指定正味財産(使途制約寄付金等)の部合計	2,305,238
	使途が制約されていない一般正味財産の部合計	4,382,341

※次ページの決算書類は、東京都等に広く公表する書式で作成しています

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
2. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
3. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	海外協力 事業	海外交流 事業	国際理解 促進事業	自然環境 保全事業	市民活動 推進事業	啓発・交流 促進事業	事業 部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	784,000	784,000
2. 受取寄付金	991,090	0	0	0	0	0	991,090	3,281,719	4,272,809
3. 受取助成金等	5,417,240	0	0	0	0	0	5,417,240	1,940,693	7,357,933
4. 事業収益	73,270	0	0	0	0	0	73,270		73,270
5. その他収益	435,817	0	0	0	0	0	435,817	0	435,817
経常収益計	6,917,417	0	0	0	0	0	6,917,417	6,006,412	12,923,829
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	3,203,000	0	0	0	0	0	3,203,000	2,102,000	5,305,000
通勤交通費	8,700	0	0	0	0	0	8,700	19,500	28,200
福利厚生費	9,000	0	0	0	0	0	9,000	11,000	20,000
法定福利費	257,588	0	0	0	0	0	257,588	81,589	339,177
人件費計	3,478,288	0	0	0	0	0	3,478,288	2,214,089	5,692,377
(2) その他経費									
海外プロジェクト費	5,062,457	0	0	0	0	0	5,062,457	0	5,062,457
払込手数料	264,012	0	0	0	0	0	264,012	253,515	517,527
広報宣伝費	214,841	0	0	0	0	0	214,841	212,567	427,408
通信運搬費	127,254	0	0	0	0	0	127,254	73,438	200,692
光熱費	59,044	0	0	0	0	0	59,044	25,304	84,348
家賃費用	466,990	0	0	0	0	0	466,990	200,138	667,128
消耗品費	236,356	0	0	0	0	0	236,356	317,006	553,362
会議費	11,835	0	0	0	0	0	11,835	5,072	16,907
旅費交通費	326,052	0	0	0	0	0	326,052	1,645	327,697
諸会費	37,100	0	0	0	0	0	37,100	15,900	53,000
研修費	54,631	0	0	0	0	0	54,631	0	54,631
保険料	950	0	0	0	0	0	950	0	950
書籍資料代	9,225	0	0	0	0	0	9,225	0	9,225
支払報酬	286,459	0	0	0	0	0	286,459	55,000	341,459
助成金返還金	1,882,742	0	0	0	0	0	1,882,742	0	1,882,742
その他経費計	9,039,948	0	0	0	0	0	9,039,948	1,159,585	10,199,533
経常費用計	12,518,236	0	0	0	0	0	12,518,236	3,373,674	15,891,910
当期経常増減額	▲ 5,600,819	0	0	0	0	0	▲ 5,600,819	2,632,738	▲ 2,968,081

4. 使途等が制約された寄付金等
使途等が制約された寄付金等の増減は以下の通りです。
当法人の正味財産は 6,687,579 円ですが下記の通り使途が指定されています。
使途が制約されていない正味財産は 4,382,341 円、使途が制約されている正味財産は 2,305,238 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
外務省:日本NGO連携無償資金協力	7,809,981	0	7,809,981	0	
国土緑化推進機構:緑の募金	0	146,163	146,163	0	
日本労働組合総連合会:連合・愛のカンパ	0	450,000	450,000	0	
ゆうちょ財団:NGO海外援助活動助成	0	500,000	500,000	0	
日本国際協力財団:国際協力NPO助成	0	1,995,500	1,000,000	995,500	
味の素ファンデーション:食と栄養支援事業	0	2,838,000	1,781,000	1,057,000	
東京しごと財団:事業継続緊急対策(テレワーク)助成金	0	219,000	219,000	0	
インド指定寄付	0	353,850	353,850	0	
インド教育ローン指定寄付	0	300,000	67,262	232,738	
インドネシア指定寄付	0	604,850	584,850	20,000	
合 計	7,809,981	7,407,363	12,912,106	2,305,238	

活動計算書

2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	338,000		
賛助会員受取会費	446,000	784,000	
2. 受取寄付金等			
受取寄付金	4,272,809		
受取民間助成金	5,121,663		
受取補助金	2,236,270	11,630,742	
3. 事業収益			
国際協力事業収益	73,270		
4. その他収益			
受取利息	62		
雑収益	435,755	509,087	
経常収益計			12,923,829
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	3,203,000		
通勤交通費	8,700		
福利厚生費	9,000		
法定福利費	257,588		
人件費計	3,478,288		
(2)その他経費			
海外プロジェクト費	5,062,457		
払込手数料	264,012		
広報宣伝費	214,841		
通信運搬費	127,254		
光熱費	59,044		
家賃費用	466,990		
消耗品費	236,356		
会議費	11,835		
旅費交通費	326,052		
諸会費	37,100		
研修費	54,631		
保険料	950		
書籍資料代	9,225		
支払報酬	286,459		
助成金返還金	1,882,742		
その他経費計	9,039,948		
事業費計		12,518,236	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	2,102,000		
通勤交通費	19,500		
福利厚生費	11,000		
法定福利費	81,589		
人件費計	2,214,089		
(2)その他経費			
払込手数料	253,515		
広報宣伝費	212,567		
通信運搬費	73,438		
光熱費	25,304		
家賃費用	200,138		
消耗品費	317,006		
会議費	5,072		
旅費交通費	1,645		
諸会費	15,900		
支払報酬	55,000		
その他経費計	1,159,585		
管理費計		3,373,674	
経常費用計			15,891,910
当期正味財産増減額			△ 2,968,081
前期繰越正味財産額			9,655,660
次期繰越正味財産額			6,687,579

貸借対照表

2021 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,018,115		
貯蔵品	841,333		
未収入金	60,070		
流動資産合計		8,919,518	
2. 固定資産			
敷金	780,790		
固定資産合計		780,790	
資産合計			9,700,308
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,790,838		
前受金	1,157,000		
預り金	64,891		
流動負債合計		3,012,729	
負債合計			3,012,729
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,655,660	
当期正味財産増減額		△ 2,968,081	
正味財産合計			6,687,579
負債及び正味財産合計			9,700,308

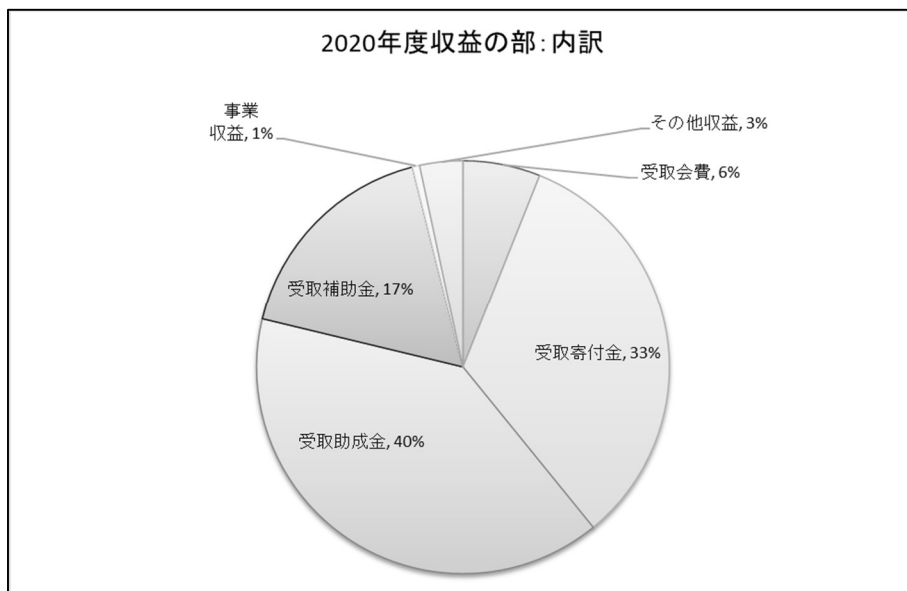
財産目録

2021 年 3 月 31 日現在

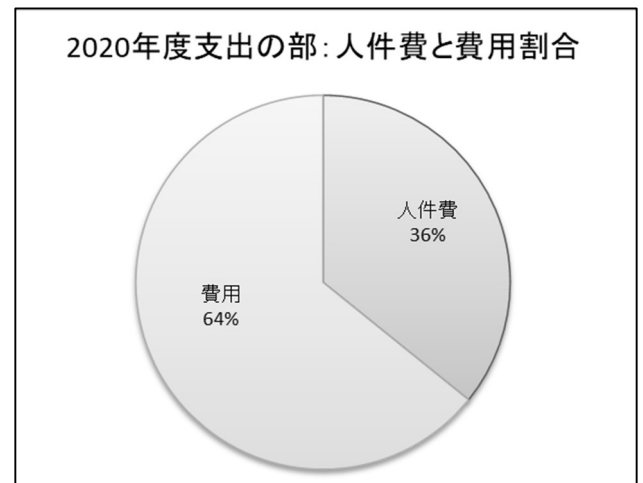
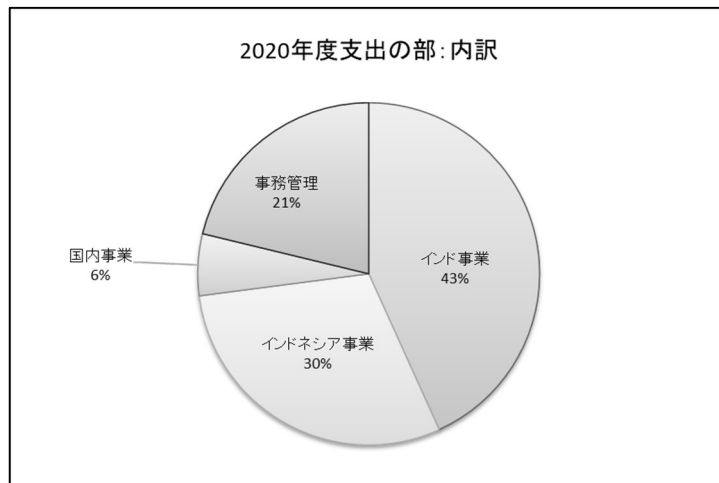
(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	0		
ゆうちょ銀行振替預金	3,106,471		
みずほ銀行普通預金	4,801,688		
三菱UFJ銀行普通預金	109,956		
貯蔵品(切手・ハガキ・金券類)	841,333		
未収入金(寄付金クレジットカード入金)	60,070		
流動資産合計		8,919,518	
2. 固定資産			
敷金	780,790		
固定資産合計		780,790	
資産合計			9,700,308
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
助成金返還金	1,610,838		
海外プロジェクト費	180,000		
前受金			
助成金	1,157,000		
預り金			
源泉徴収税・住民税・社会保険	64,891		
流動負債合計		3,012,729	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,012,729
正味財産			6,687,579

収益の部		会計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)			
分類	内訳	2019年度 決算	2020年度 予算	2020年度 決算	2021年度予算案
受取会費	正会員個人	288,000	360,000	318,000	288,000
	正会員団体	40,000	20,000	20,000	20,000
	賛助会員	484,000	240,000	446,000	420,000
	小計	812,000	620,000	784,000	728,000
受取寄付金	無指定寄付	61,181	60,000	2,121,518	4,100,000
	マンスリーサポーター	85,800	48,000	38,650	36,000
	インド指定寄付	399,202	300,000	353,850	150,000
	インド教育ローン指定寄付	500,000	0	300,000	0
	インドネシア指定寄付	1,533,766	1,200,000	624,850	150,000
	きしゃぼん募金	76,316	30,000	65,538	80,000
	金券物品等換金寄付(使用済切手等)	114,730	90,000	129,041	108,000
	切手ハガキ寄付	969,289	600,000	639,362	450,000
	スンバ島栄養改善事業(Readyfor)	1,041,000	0	0	0
	小計	4,781,284	2,328,000	4,272,809	5,074,000
受取助成金	千代田社会福祉協議会広報助成金	30,000	0	30,000	30,000
	緑の募金(スンバ島 植林支援)	494,800	500,000	146,163	0
	日中友好会館(スンバ島 植林支援)				500,000
	連合 愛のキャンパ(スンバ島 通学バッグ支援)	500,000	600,000	450,000	500,000
	味の素ファンデーション(スンバ島栄養改善)	0	2,838,000	1,781,000	1,057,000
	ゆうちょ財団(スンバ島 有機農業支援)	859,371	0	0	0
	生協総合研究所(インド女性の自立支援)	997,000	0	0	0
	ゆうちょ財団(バリ島給水事業)	0	980,000	500,000	500,000
	国際協力財団(バリ島給水支援)	0	2,000,000	1,995,500	1,995,500
	東京しごと財団:事業継続緊急対策(テレワーク)助成金	0	258,000	219,000	0
	小計	2,881,171	7,176,000	5,121,663	4,582,500
受取補助金	日本NGO連携無償資金協力(スンバ島有機農業支援)	0	20,000,000	0	26,324,218
	日本NGO連携無償資金協力(インド有機農業支援)	20,270,640	0	0	0
	東京都:家賃支援給付金	0	0	13,898	0
	厚労省:雇用調整金	0	700,000	0	0
	経産省:持続化給付金・家賃支援給付金	0	0	2,222,372	0
	経産省:一時支援金	0	0	0	0
	小計	20,270,640	20,700,000	2,236,270	26,324,218
事業収益	海外部門	インド事業:委託依頼収入	932,160	0	0
		小計	932,160	0	0
	海外ツアー部門	インド:スタディーツアー	0	0	0
		インドネシア:スタディーツアー	0	0	0
		支援者視察収入	19,744	0	0
		小計	19,744	0	0
	国内部門	講演会/派遣謝礼	0	0	50,000
		イベント等収益	249,700	5,000	3,270
その他収益		原稿・研修収益(スタディーツアー研究会 事務局代行費として)	5,500	0	20,000
		小計	255,200	5,000	73,270
		受取利息	62	60	62
		雑収入	0	0	435,755
小計		62	60	435,817	60
収益 合計		29,952,261	30,829,060	12,923,829	36,983,778



支出の部 会計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)					
分類	内訳	2019年度 決算	2020年度 予算	2020年度 決算	2021年度予算案
事業・管理部門 一般寄付 人件費	給料手当	6,831,320	5,315,000	2,295,000	298,000
	通勤交通費	183,930	150,000	28,200	70,000
	福利厚生費	20,000	20,000	20,000	30,000
	法定福利費	15,066	680,000	339,177	680,000
	小計	7,050,316	6,165,000	2,682,377	1,078,000
管理・事業共通 一般寄付支出	払込手数料	429,278	23,000	138,471	250,000
	広報宣伝費	283,116	460,000	98,248	100,000
	通信運搬費	175,471	180,000	30,613	16,000
	光熱費	83,083	83,000	28,747	83,000
	家賃費用（奇数年は更新料も含む）	718,495	680,000	222,376	70,158
	消耗品費（単価10万円未満）コピー機印刷費も含む	332,446	520,000	233,333	228,000
	会議費	18,100	8,400	6,857	8,400
	旅費交通費	4,760	5,000	1,645	5,000
	諸会費	0	0	0	53,000
	研修費	0	20,000	0	20,000
	保険料	0	0	350	350
	書籍資料費	0	5,000	0	5,000
	支払支払報酬	214,805	220,000	0	0
	助成金返還金	0	973,000	1,882,742	0
	雑費	0	401,400	0	0
	小計	2,259,554	3,578,800	2,643,382	838,908
インド一般寄付部門	海外プロジェクト費【2019年度年末募金：生理用ナプキン支援】	0	0	50,000	0
	海外プロジェクト費【新型コロナウイルス対策】	0	0	116,640	0
	海外プロジェクト費【タミルナドゥ州 REYDS 女性の自立支援事業】	792,180	0	0	0
	海外プロジェクト費【トイレ建設委託事業】	736,320	0	0	0
	海外プロジェクト費【その他助成金事業の支出外対応予備費】	0	0	0	500,000
	払込手数料	36,728	24,000	5,320	0
	広報宣伝費	0	0	0	0
	通信運搬費	0	0	1,879	0
	光熱費	0	0	0	0
	家賃費用	0	0	0	0
	旅費交通費	1,471,184	0	0	0
	消耗品費	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0
	書籍資料費	0	0	0	0
	車両賃借料	0	0	0	0
	小計	3,036,412	24,000	173,839	500,000
インド 教育ローン部門	海外プロジェクト費【タミルナドゥ州 SHG 奨学金支援事業】	458,200	0	120,000	0
	払込手数料	0	0	440	7,320
	支払報酬	0	0	126,822	6,700
	小計	458,200	0	247,262	14,020
インドN連 部門 ※2020年11月末で終了	人件費	0	0	3,010,000	0
	海外プロジェクト費【タミルナドゥ州 REYDS 有機農業基盤整備事業】	17,884,230	200,000	748,370	0
	払込手数料	0	0	341,226	0
	通信運搬費	0	0	47,781	0
	家賃費用	0	0	444,752	0
	光熱費	0	0	55,601	0
	旅費交通費	0	0	292,932	0
	広報宣伝費	0	0	80,748	0
	消耗品費	0	0	220,104	0
	研修費	0	0	54,631	0
	書籍資料費	0	0	8,618	0
	会議費	0	0	10,050	0
	諸会費	0	0	53,000	0
	保険料	0	0	600	0
	支払報酬	0	0	203,500	0
	小計	17,884,230	200,000	5,571,913	0



インドネシア 一般寄付部門	海外プロジェクト費【スンバ島 栄養改善事業】	843,500	0	0	0
	海外プロジェクト費【スンバ島 MARADA 次期事業モニタリング調査】	139,500	100,000	0	0
	海外プロジェクト費【有機農業支援事業】	344,477	0	0	0
	海外プロジェクト費【スンバ島 ラジオMAX 植林支援事業】	448,235	500,000	83,229	0
	海外プロジェクト費【新型コロナ対策】	0	0	108,000	0
	海外プロジェクト費【その他 助成金支出外等の予備費】	0	0	0	500,000
	広報宣伝費	0	0	67,620	0
	旅費交通費	550,122	0	2,640	0
	通信運搬費	0	0	14,248	15,000
	交際費	0	0	0	0
	書籍資料代	0	0	607	10,000
	その他費用	34,868	30,000	0	0
	払込手数料	14,540	15,000	16,500	21,000
	小計	2,375,242	645,000	292,844	546,000
インドネシア 日中友好植林部門	海外プロジェクト費【スンバ島ラジオMAX植林支援事業】	0	0	0	210,000
	消耗品費	0	0	0	5,000
	広報宣伝費	0	0	0	15,000
	通信運搬費	0	0	0	25,000
	旅費交通費	0	0	0	245,000
	旅費交通費(予算外支出)	0	0	0	300,000
	小計	0	0	0	800,000
インドネシア 愛のカンパ 通学バック部門	海外プロジェクト費【東スンバ県小学校 通学バック支援】	359,580	500,000	255,068	451,000
	広報宣伝費	0	0	180,792	0
	日本国内経費(渡航出来る際は旅費交通費に計上OK)				49,000
	雑費	0	0	0	1,000
	払込手数料	0	0	14,140	0
	小計	359,580	500,000	450,000	501,000
インドネシア 味の栄養改善部門	人件費	0	0	0	600,000
	海外プロジェクト費【スンバ島 味の素助成栄養事業】	0	1,800,000	1,581,150	0
	支払支払報酬	0	0	0	50,000
	旅費交通費	0	0	0	337,000
	日本国内活動費	0	0	199,850	70,000
	小計	0	1,800,000	1,781,000	1,057,000
スンバN連部門	海外プロジェクト費【スンバ島 有機農業支援(N連助成)】	0	20,000,000	0	18,264,036
	人件費(国内管理担当者)	0	0	0	960,000
	人件費(駐在・事業担当者)	0	0	0	5,640,000
	雑費				613,842
	旅費交通費	0	0	0	632,340
	消耗品費	0	0	0	22,000
	研修費	0	0	0	10,000
	通信運搬費	0	0	0	24,000
	支払報酬	0	0	0	150,000
	払込手数料	0	0	0	8,000
	小計	0	20,000,000	0	26,324,218
	海外プロジェクト費【バリ島 給水事業】	0	2,900,000	2,000,000	2,955,000
バリ島給水部門	旅費交通費	0	0	0	536,000
	小計	0	2,900,000	2,000,000	3,491,000
海外ツアー部門	旅費交通費【インド支出】	0	0	0	0
	旅費交通費【インドネシア支出】	229,518	0	0	0
	通信運搬費	0	0	1,252	0
	広報宣伝費	14,200	0	0	0
	会場出展費	3,420	0	0	0
	払込手数料	0	0	1,430	0
	小計	247,138	0	2,682	0
国内イベント部門 ※オンラインツアーも今後はこちらに計上 予定	旅費交通費	0	0	30,480	10,000
	通信運搬費	0	0	4,994	50,000
	消耗品費		0	0	50,000
	その他費用	68,148	0		0
	仕入・出展費	202,221	0	0	10,000
	支払報酬	0	0	11,137	0
	小計	270,369		46,611	120,000
支出 合計		33,941,041	35,812,800	15,891,910	35,270,146
収支 総合計		▲ 3,988,780	▲ 4,983,740	▲ 2,968,081	1,713,632
次期繰越金		9,655,660	4,671,920	6,687,579	8,401,211

予算書(案)

2021 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	308,000		
賛助会員受取会費	420,000	728,000	
2. 受取寄付金等			
受取寄付金	5,074,000		
受取民間助成金	4,582,500		
受取補助金	26,324,218	35,980,718	
3. 事業収益			
国際協力事業収益	275,000		
4. その他収益			
受取利息	60	275,060	
経常収益計			36,983,778
II 経常費用			
1. 事業・管理費			
(1)人件費			
給料手当	7,498,000		
通勤交通費	70,000		
福利厚生費	30,000		
法定福利費	680,000		
人件費計		8,278,000	
(2)その他経費			
海外プロジェクト費	22,880,036		
払込手数料	286,320		
広報宣伝費	115,000		
通信運搬費	130,000		
光熱費	83,000		
家賃費用	684,000		
消耗品費	305,000		
会議費	8,400		
旅費交通費	2,065,340		
諸会費	53,000		
研修費	30,000		
保険料	350		
書籍資料代	15,000		
雑費	130,000		
支払報酬	206,700		
その他経費計		26,992,146	
事業・管理費計			35,270,146
経常費用計			35,270,146
当期正味財産増減額			1,713,632
前期繰越正味財産額			6,687,579
次期繰越正味財産額			8,401,211

監査報告書

特定非営利活動法人地球の友と歩む会の財産ならびに事業遂行状況について本会定款第15条第3項に基づき監査した結果を報告します。

記

1. 監査の期間

2020年度	自	2020年 4月 1日
	至	2021年 3月 31日

2. 監査の内容

(1) 理事の業務執行の状況

事業の執行については理事会で十分審議し、円滑かつ適正に実行されたものであると認めます。

(2) 財産の状況

関係帳簿類が適正に管理され、誤りのないものであることを認めます。

2021年4月28日

監事：

沢走弘之



2020 年度役員・職員一覧

役員【理事長】

向 當 稔 ホームアイアイと警備機器

役員【理事】

藤崎 義宣	日本キリスト教団 久が原教会
岩田 雅子	アール・コンサルティング株式会社
上村 真	富士電機株式会社
鷺見 香子	自然電力株式会社
横山 計三	工学院大学
下山 久光	アイ・シー・ネット株式会社
米山 敏裕	特定非営利活動法人地球の友と歩む会

以上 8 名

役員【監事】

浜走 弘之 社会福祉法人 恵和

以上 1 名

※任期満了につき藤崎 義宣氏は 2021 年度から役員退任の意向です

※任期満了につき向 當 稔 氏は 2021 年度総会後の理事会より理事長を退任の意向です

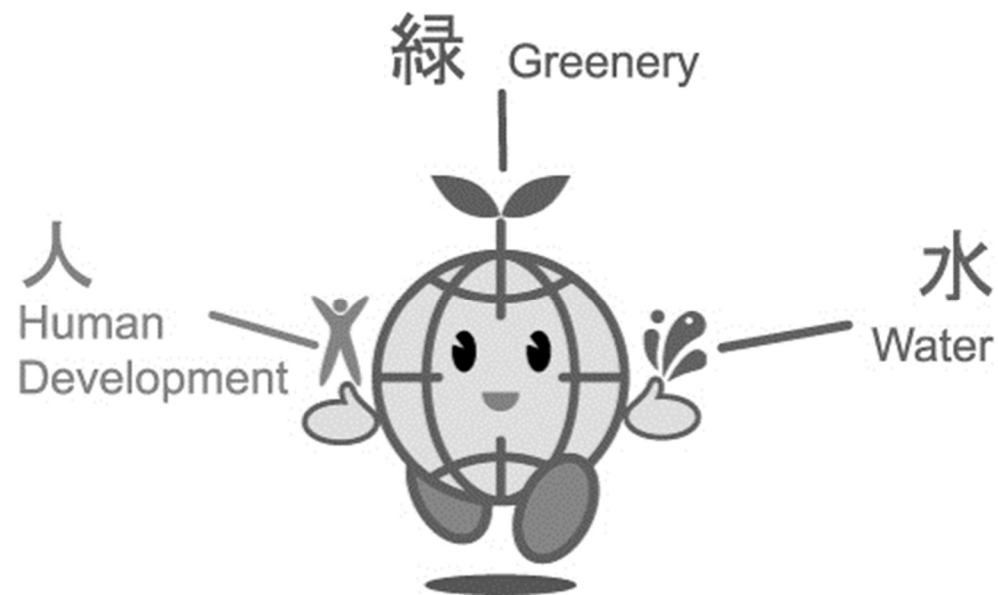
※向當氏を含めた他役員は再任の意向です

※正会員の方で役員を希望される方は総会前までに事務局までお申し付けください

【職員】

米山 敏裕	事務局長
古賀 麻美	国内・海外事業担当
佐藤 静香	国内事業・管理担当

以上 3 名



特定非営利活動法人 地球の友と歩む会

LIFE: Live with Friends on the Earth

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-2-2 東京三和ビル 503

TEL 03-3261-7855

FAX 03-3261-9053

life@earth-ngo.jp

<http://www.earth-ngo.jp/>